

筋電センサを用いた 入力装置の研究

研究目的

VRを使う際入力デバイスにモーショントラッカーを使用する場合かなり広めのスペースが必要。

複数の機材が必要。



自分の体そのものを入力装置として使えれば誤入力が減る。



研究内容

VRの使用中を想定した入力装置なので腕もしくは手に筋電センサを付けてそこから得られるデータをインタフェースに用いる

ボタン入力の役割を筋電で行う予定



研究環境

マイコン（Arduino）に筋電センサ（EMG Sensor）を接続して筋電図を測定

PCにて筋電図の確認



研究状況と現状の課題

筋電図を計測できるが腕から指の動きに関する筋電を拾おうとすると他の部位の筋電も混ざるのか筋電図が安定しない

計測する場所を少し変えても近いところの筋電も拾うのかあまりデータが変わらない



今後やりたいこと

筋電位を入力キーとして使うためのソフトの設計

生体パットを長時間つけてるとかぶれるので体に当てる素材の変更

